

鳥取県地震

2026年（令和8年）6月

鳥取地方気象台

目次

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動	
震央分布図及び断面図、概況	1
震源リスト（M2.0以上）	1
(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震	
震度のリスト	2
震度分布図	3
(3) 地震・津波の知識	
国外で発生した地震に伴う津波について	4

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

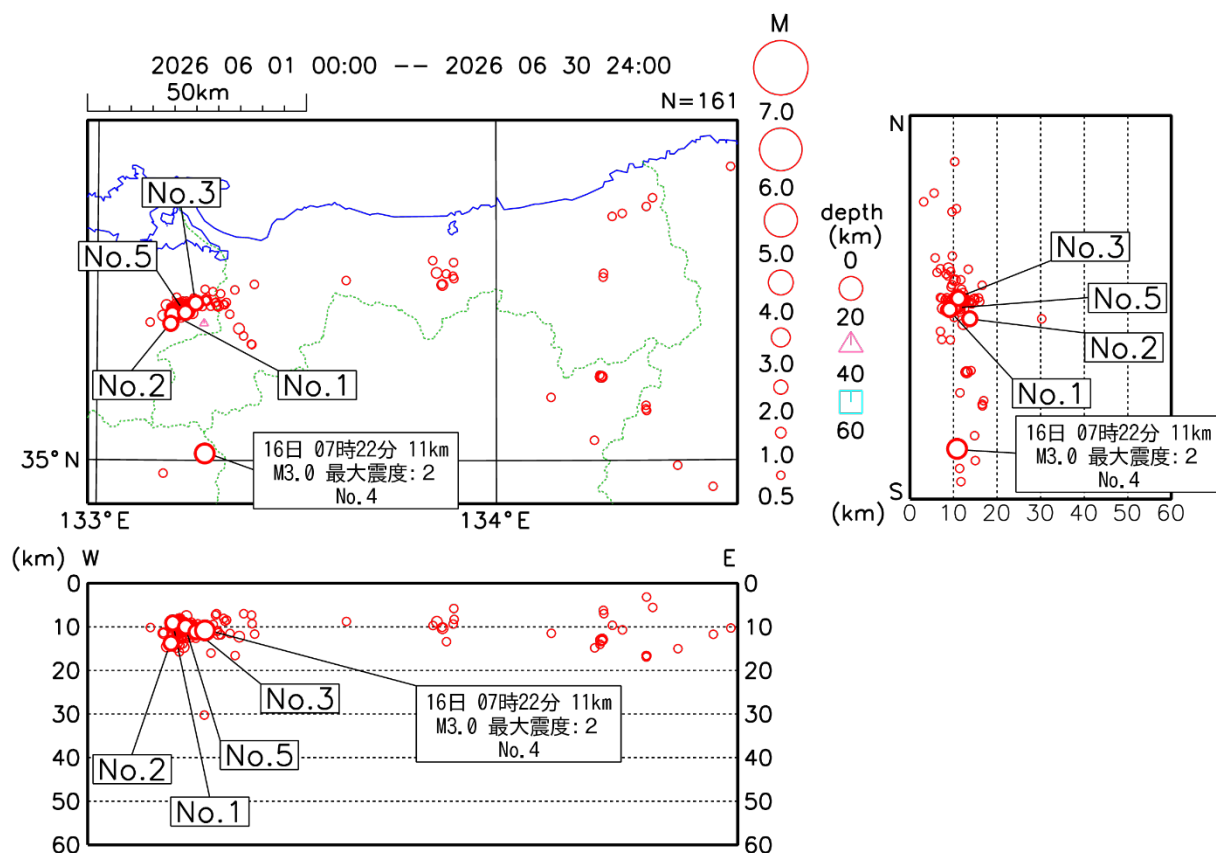
- ・本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがあります。

* 広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。

大阪管内地震活動図URL https://www.data.jma.go.jp/osaka/jishinkazan/divos_monthly.html

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動

[震央分布図・断面図]



[概 況]

2026年6月に鳥取県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は1回（前月は2回）でした。

26日22時28分 山梨県東部・富士五湖の地震（深さ20km、M5.6：上図の範囲外）と26日22時30分 山梨県東部・富士五湖の地震（深さ19km、M3.2：上図の範囲外）により、山梨県富士河口湖町で震度6弱を観測したほか、東北から中国地方にかけて震度5強～1を観測しました。鳥取県内では鳥取市で震度1を観測しました。

上記震央分布図内において、M2.0以上の地震は5回（前月は9回）でした（番号は震源リストに対応）。

なお、16日07時22分に発生した地震（上図のNo.4）は広島県、岡山県でのみ震度が観測されています。

[震源リスト(震央分布図内のM2.0以上の震源リスト)]

No.	発震時(年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	マグニ チュード	最大 震度
1	2026年06月13日02時04分	島根県東部	35° 18.0' N	133° 11.2' E	9	2.1	-
2	2026年06月14日19時26分	島根県東部	35° 16.8' N	133° 11.0' E	14	2.2	-
3	2026年06月15日23時24分	島根県東部	35° 19.3' N	133° 14.7' E	11	2.1	-
4	2026年06月16日07時22分	広島県北部	35° 0.8' N	133° 16.2' E	11	3.0	2
5	2026年06月22日05時08分	島根県東部	35° 18.2' N	133° 13.2' E	10	2.0	-

(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震

[鳥取県内で震度1以上を観測した地震及び震度のリスト]

発震時 (年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード
2026 年 06 月 26 日 22 時 28 分	山梨県東部・富士五湖	35 ° 33.1' N	138 ° 57.9' E	20km	M5.6
2026 年 06 月 26 日 22 時 30 分	山梨県東部・富士五湖	35 ° 32.2' N	138 ° 57.7' E	19km	M3.2
----- 地点震度 -----					
鳥取県 震度 1 : 鳥取市福部町細川*					

- ・*印のついている地点は、鳥取県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。
- ・震源が複数記載されている地震は、ほぼ同時刻に発生した地震であるため、震度の分離ができないものです。

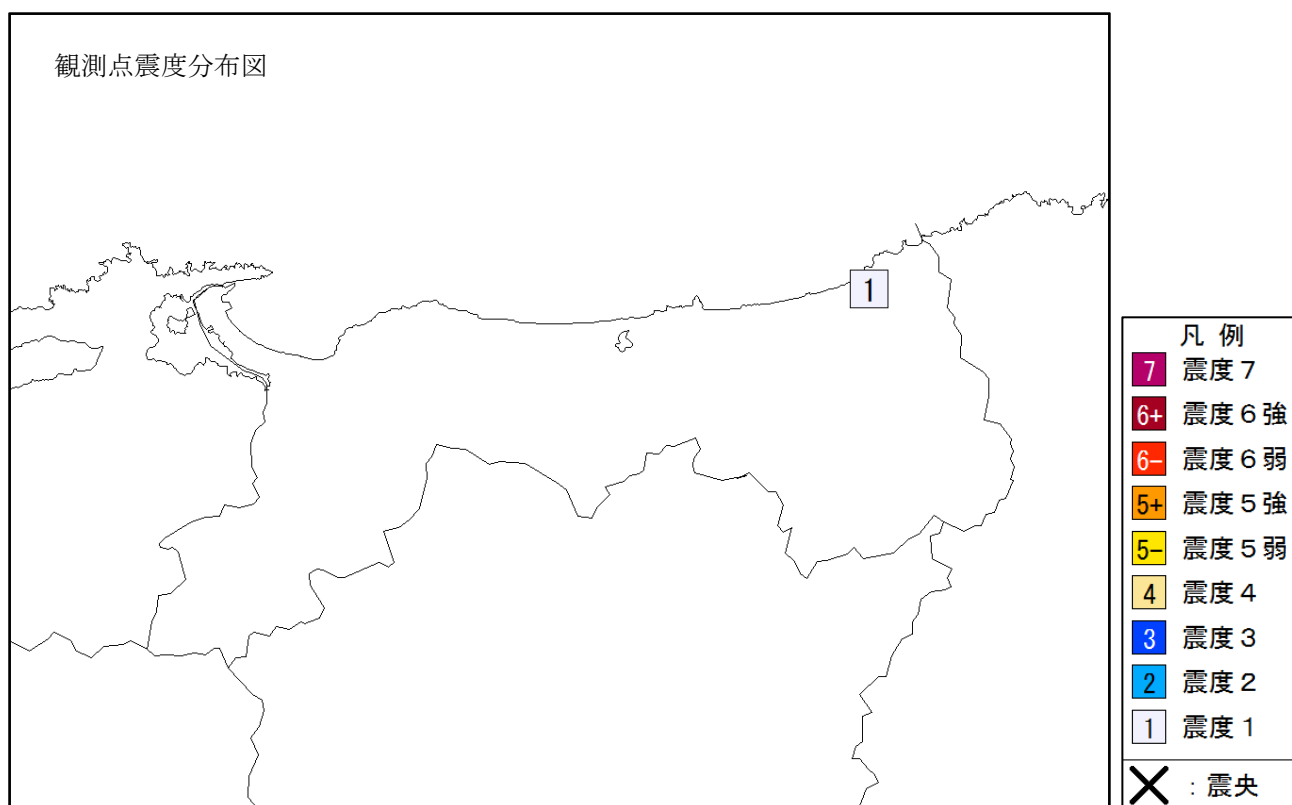
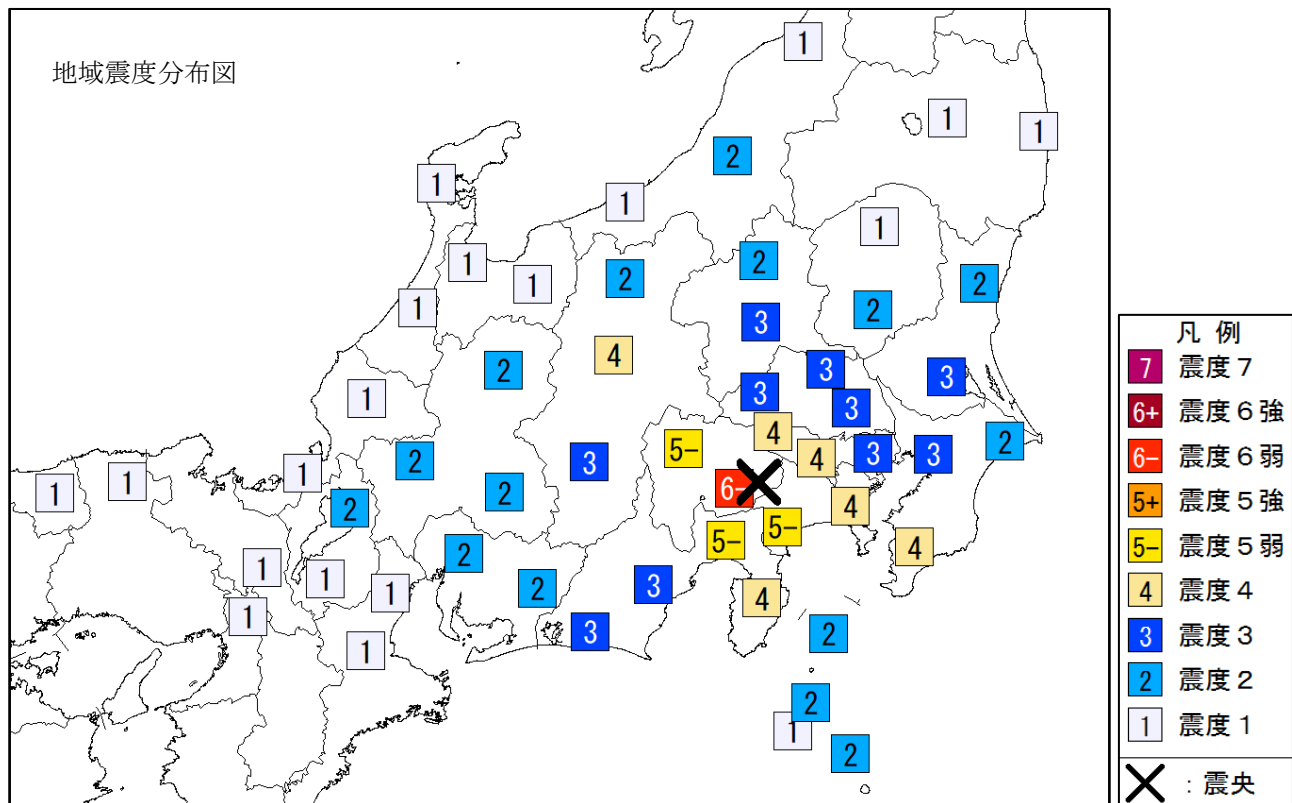
[鳥取県内で震度1以上を観測した地震の震度分布図（図中×は震央）]

2026 年 06 月 26 日 22 時 28 分

山梨県東部・富士五湖

2026 年 06 月 26 日 22 時 30 分

山梨県東部・富士五湖



(3) 地震・津波の知識

国外で発生した地震に伴う津波について

今年（2026 年）6 月 8 日 08 時 37 分（日本時間）に発生したフィリピン諸島、ミンダナオを震源とする地震により、太平洋沿岸を中心に津波を観測しました（津波注意報発表：6 月 8 日 09 時 05 分～16 時 50 分）。国外で発生した規模の大きな地震（以下、「遠地地震」）に伴う津波が日本に來襲し、時には大きな被害が発生します。今回は遠地地震による津波について解説します。

○遠地地震による津波について

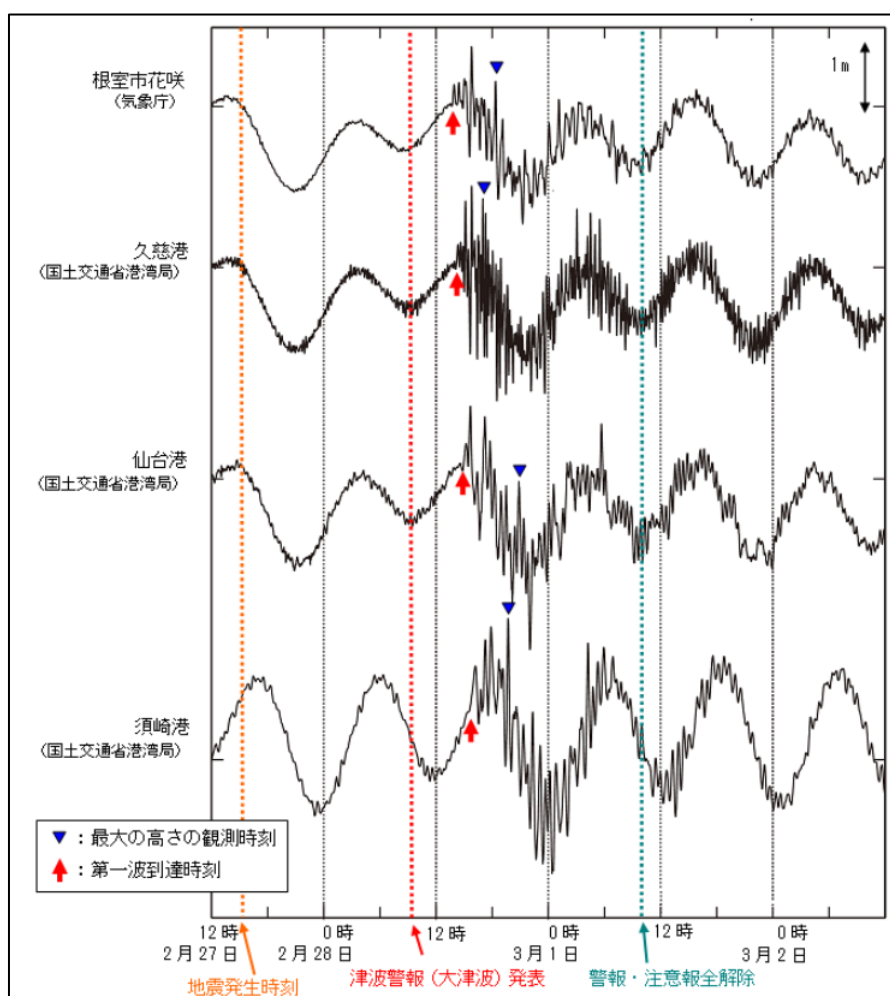
一般に津波は、その発生源（波源）から遠ざかると影響は小さくなりますが、非常に大きな津波の場合は、はるか遠くまで伝わり大きな被害をもたらすことがあります。

遠くから伝わってくる津波は、途中の海底地形や陸地の影響を受け反射・散乱を繰り返しながら複雑に変化し、津波が長時間継続するほか、複数の波が重なって著しく高い津波になることもあります。

右図は、2010 年 2 月 27 日 15 時 34 分（日本時間）に発生したチリ中部沿岸の地震における日本国内の主な検潮所で観測した津波の波形図です。地震発生から約 22 時間後に日

本の太平洋沿岸へ津波が到達し、その後 1 m 近い津波が 3 月 1 日早朝にかけて繰り返し押し寄せてきていることが分かります。

この遠地地震による津波では全国各地で津波を観測し、高いところでは 1 m を超える津波を観測しました。中国地方では瀬戸内海沿岸の観測点で最大 22 cm の津波（山口県）を、日本海沿岸の観測点で最大 19 cm の津波（鳥取県）を観測しました。

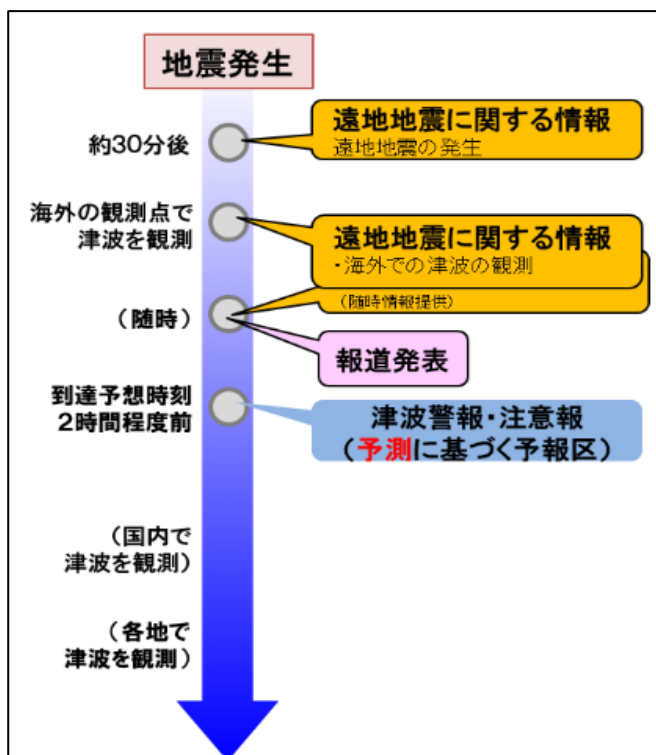


2010 年 2 月 27 日チリ中部沿岸の地震における
日本国内の主な検潮所で観測した津波

○遠地地震に関する情報、遠地地震に伴う津波警報等の発表

気象庁では、国外でマグニチュード7.0以上の地震が発生した場合などに、右図の通り、地震発生から30分程度で「遠地地震に関する情報」として、地震の発生時刻、発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）、日本への津波の有無について発表します。その後、日本への津波の来襲が予想される場合は、日本への津波到達の2時間程度前に津波警報等を発表します。ただし、今年6月8日のフィリピン諸島、ミンダナオの地震のように、地震発生から日本への津波到達まで2時間程度の猶予がない場合は、まずは津波警報等を発表し、その後「遠地地震に関する情報」を発表します。

遠地地震については、直接地震の揺れを感じることはありませんが、「遠地地震に関する情報」により日本への津波の影響を確認していただき、津波警報等が発表された場合は解除されるまで避難行動を継続してください。



遠地地震による情報発表のシナリオ
（津波到達予想時刻まで十分な猶予がある場合）

（参考）気象庁ホームページ：知識・解説＞津波から身を守るために

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/tsunami_bosai/index.html

そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和8年6月地震・火山月報（防災編）』をご覧ください。

U R L <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/>

問い合わせ先：鳥取地方気象台

TEL：0857－29－1313